

# MT夢クラブ21で文化活動を指導している人は・・・

次にこの夢クラブで文化活動を指導している人にクラブの取り組み方などについて聞いてみました。

文化系  
指導者

MT  
夢クラブ  
21

子どもたちには、自分の特技を磨いてもらって、市の文化の底辺を広げてほしい

梅村書道教室(書道)

梅村淳雄さん



▲梅村淳雄さん。夢クラブでは週3回、書道教室を開いています。日曜日は、下米田小学校の図書室を使って、教室を開いています。

なつたのです。  
小さい時から好きなことを見つけるといことは、非常にいいことだと思えます。子どもたちは、何が自分には向いているのかわからないだろうし、いろんなものにチャレンジしてもらおうことの一環として、このクラブがあるのだと思うのです。

この習字のクラブを選んだ人が、もしこれが自分に合っているということであれば、その個性を伸ばしていく、伸ばすといっても目に見えないものから、例えば、段位を取得することなどで自分に自信を持つということなのです。それが、社会で生きていく上で大切なことだと思えます。

仲間を作ることはもちろんですが、このような「自分探し」に取り組むことを望みます。

私自身は、このクラブ活動を行っていく上で支障は何も感じないし、むしろ子どもたちの笑顔や明るい雰囲気の中で教えることは楽しいです。

この小学校の図書室で習字をやっていると、子どもたちは笑いながら、学校の授業の延長みたいと言っていますよ。このクラブに来ている子どもたちは

人にいわれて来ているのと違い、教えていても受け取りがいいし、やる気があつて頼もしいです。こつこつた子どもたちが将来的には、自分の特技を磨いて、市の美術展などに積極的に参加してもらおうなど、美濃加茂市の文化の底辺を広げていってほしいですね。



▶書道教室の風景。子どもたちが書いた習字を梅村さんが添削しています。手前と同じように添削しているのは、この教室でサポーターとして指導している、山手小学校教諭の多和田温子さん。

サポーターとは・・・MT夢クラブ21の中で技術面やメンタル面、クラブの管理運用などをサポートしてくれる人をいいます。